

文科省の片岡参事官が資料 13-1(研究開発の評価)を一分強で説明した後、1分弱の質疑応答があった。(年度が変わった為、改めて推進部会の設置を議題に掛けた。3人の新任特別委員が加わった。当面、審議に掛けるプロジェクトは決まっていない。)

松尾委員長:此れ、特別な案件ではなくて、一般的な形に当書はなっておりますので、こう云う形で。此れは決定を要する事項のようで御座いますので、宜しゅうございますか？それでは…

青江:因みに何がありそうなんですか？今年度¹。

文科省 片岡:未だ検討中で御座いますが、エー---

池上:何か、金額。投資金額幾ら以上って云う風になって、

青江:其れは200億。

松尾委員長:いや、だけどもあ、そうじゃなくても必要と思えばやりますから。今のところでは準備状況等を勘案しつつと云う感じで御座いますか。

文科省 片岡:ええ。そうで御座います。

松尾委員長:推進部会長、宜しゅう御座いますか。

青江:はい。

松尾委員長:それでは此の件、此処までに致します。

¹ フェーズアップの候補位はリストアップして置いて良いのではないか。